

【スライド1、2枚目】 開始～0分29秒

株式会社京都ホテルの橋本です。

このパワーポイントは新入社員研修で使用するものを加工しています。

新入社員には当社の取組をこのような資料で説明しています。

【スライド3、4枚目】 0分29秒～1分11秒

当社では、資料のとおり、京都ホテル環境宣言を掲げています。こちらはホームページにも掲載しています。

同宣言では、全従業員で取り組むこととして「1. 私たちは、環境に及ぼす影響を常に認識し環境汚染の予防に努めます」など、1～5の内容を宣言し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

また、経営理念や行動宣言、環境宣言を記載したリーフレットを作成しており、役員・従業員は常に携行しています。

【スライド5、6枚目】 1分11秒～1分24秒

プラスチック製品の縮小、バイオマスアメニティの採用に取り組んでいます。

【スライド7枚目】 1分24秒～2分8秒

清掃不要カードを用意し、連泊されるお客様のうち、清掃が不要な方については、ドアに掛けていただいています。

食品ロスの軽減として、バイキングで提供して余ってしまったパンを従業員食堂で無償提供し、ごみにならないようにしています。

グリーン電力の使用として、ホテル従業員の名刺は環境にやさしい電力を使用しており、名刺裏面にその旨を記載しています。

【スライド8枚目】 2分8秒～2分29秒

生ごみ処理機の導入により、年間100トンのごみが水となり、ごみの減量に寄与しています。

廃油は、バイオディーゼル燃料として、ごみ収集車や市バスの燃料に利用しています。

【スライド9枚目】 2分29秒～3分53秒

地元医療機関との連携が当社のオリジナリティーある取組です。

アメニティについては、宿泊客に必要な分だけ利用いただていることに加え、使用済みアメニティのうち、ごみ箱に入っていない「くし・ブラシ」については、地元医療機関の洛和会音羽病院へ送付し、同施設で消毒のうえ、リハビリに活用いただいています。

本来なら捨てるものが、人の役に立ち、患者さんの活力向上につながるという、私たちが思ってもいなかった効果がありました。

また、清掃活動への積極的な参加を、社内の掲示板で職員に呼び掛け、たくさんの方に参加いただいています。

【スライド10枚目】 3分53秒～4分3秒

京都市との災害提携、はあとフレンズストア商品の販売、フードドライブの実施などに取り組んでいます。

【スライド11枚目】 4分3秒～4分42秒

お客様が御使用になったアメニティのうち、ごみ箱に貼っていないものを回収、洛和会様で消毒してリハビリに使っていただいています。

筋力の低下等で、くしやブラシを握って腕をあげることが困難な方のリハビリに役立っています

また、長い入院生活で、寝たきりの方が、退院に向けて自立した生活ができる訓練になります。

【スライド12枚目】 4分42秒～5分47秒

人が生活していく上で必要な動作を日常生活動作（ADL）といい、その中でも「整容」の訓練について、洛和会様から報告いただいています。

何もしたくなかった患者様が、髪を整えることをきっかけに毎日リハビリに取り組むようになった。

嘔気が続いていて気力が落ち、認知機能も低下していた患者様が、櫛で髪をとくことで鏡を見ることが嫌いではなくなった。

「病院のエレベーターの鏡張りに写る自身の髪を見て落胆されてしまう方もいるが、くしで髪を整えることにより、鏡を見ることが楽しくなった」という話を聞いて、私たちもうれしく思っています。

【スライド13枚目】 5分47秒～6分29秒

本取組は、洛和会様との協働の作業がなければ成り立ちませんでした。

ある企業で廃棄するものが、別の企業では有効に活用できるマッチングがあること、2Rの実現が、環境面だけでなく、人の生きがいや働き甲斐にまでつながる可能性があることを強く実感いたしました。

他にもこのようなマッチングがあるのではないかと考えています。何かのきっかけで広まっていければと思っています。

ありがとうございました。